



リビングロボット

<https://livingrobot.co.jp/>

パートナーロボット『見守りウィーゴ』による実証実験

福島県の公立岩瀬病院にて始動／高齢患者の『QOL』『ADL』の向上を目指す

リビングロボット(福島県伊達市)が開発を進めている、高齢者生活サポートのためのパートナーロボット『見守りウィーゴ』による実証実験が、このほど福島県の公立岩瀬病院(須賀川市)にて開始された。『見守りウィーゴ』による病院での実験は今回が初めての試みになるという。

実験では、高齢患者を対象に、『見守りウィーゴ』のエンタメ機能やおしゃべり機能を使って会話を促したり、リハビリの一環としての簡単な体操を行う事で『QOL』『ADL』の向上を目指し、また人手不足による病院スタッフの負担軽減を目指す。また、他の機器との連動による「患者の見守り」も実施される予定とのこと。

今回の実験実施の背景として『リビングロボット』では次のように語る。「人とロボットが共に生きるというコンセプトのもと、人の生活に寄り添うロボットの開発・研究を行っています。

2021年から教育用プログラミングロボット『あるくメカトロウィーゴ』をプログラミング学習のパートナーとして販売し、多くの方に利用されています。さらに、超高齢社会によって起こる医療・介護従事者の負担軽減と高齢者のQOL/ADL向上を目指して、生活サポート用パートナーロボット『見守りウィーゴ』の開発も進められています。単なる製品道具としてのロボットではなく、人の生活に笑顔や活気を与えられ、より人が人らしく生きられる存在のロボットの実現に向けて、この度福島県の公立岩瀬病院と協力し、実証実験の実施が実現しました——」。

実験の場となる『公立岩瀬病院』は150

年の歴史を誇り、須賀川岩瀬地方で中核となる医療機関として地域に貢献。現在は、東日本大震災で被災した外来棟の新設、この地域で安心して産み育てるための周産期センターの設置を終え、279床の病床を有する急性期病院として機能しているという。



シニアが元気になると 日本が元気になる！

元気シニア倶楽部 会員募集中!!

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



令和5年度『佐賀さいこう表彰(自発の地域づくり・協働部門)』受賞

地域ネットワークの構築に貢献 —— 『こども宅食応援団』 ——

こども宅食応援団(一般社団法人/佐賀県佐賀市)では、佐賀県が選出する『佐賀さいこう表彰』において「自発の地域づくり・協働部門」を受賞した。『佐賀さいこう表彰』は、佐賀県における地域課題解決に向けた取り組みを行い、顕著な成果を挙げている、又は地域の下支えとして活動しているCSO等を対象にした表彰式。こども宅食応援団は、「こども宅食事業の普及活動に尽力するとともに、地域ごとの実情に即したノウハウを事業実施団体へ提供し、地域をつなげるネットワークの構築に

貢献した」という点が評価され、今回の受賞に至ったのだという。

佐賀県は、NPO活動がとても盛んで、県がNPOを誘致したり、NPOが活動しやすい環境をつくっている、「NPO先進地区」ともいえる場所。『こども宅食応援団』は、文京区で始まったこども宅食を全国展開するため、佐賀県に拠点を置き、2019年1月から佐賀県内で説明会を開催し、県内から

助成や伴走支援を希望する団体を公募。現在は、支援対象を全国の地域へと広げ、こども宅食の実施団体への様々な支援を行っている。



<https://hiomare-takushoku.jp/>

七尾警察署・七尾市と連携した地域の見守り活動を開始

『宅配クック ワン・ツウ・スリー』七尾店が地域密着型サービス展開 —— シニアライフクリエイト ——

<https://takuhaicook123.jp/>



◎ステッカーを貼付した配達車両やチラシ配布による見守り・啓発活動を実施していく。

シニアライフクリエイト(東京都港区)が展開する高齢者専門宅配弁当『宅配クックワン・ツウ・スリー』の加盟店『宅配クックワン・ツウ・スリー 七尾店』(運営法人:株式会社GALON GP)では、石川県七尾警察署・七尾市と連携した配達時における「見守り活動」の取り組みを開始した。(2023年12月11日より) また、連携にあたり、同日、七尾警察署からの見守りステッカー、特殊詐欺防止の啓発チラシ贈呈式、さらに「見守りパトロール出発式」が開催された。

具体的な取り組み内容としては、「見守りステッカー」を貼付した配達車両で地域住民への周知を図るほか、利用者へお弁当を届ける際に、特殊詐欺被害を啓発するチラシの配布を行う。こうした取り組みにより、『宅配クックワン・ツウ・スリー』の利用者のみならず、地域全体の見守り強化に努めたい考え。「当社では、今後も地域の見守りプロジェクト等に積極的に参加し、高齢者がいきいきと暮らせる環境づくりに貢献して参ります——(同社談)。

アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**
ヒント

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第77回 軽く手をそえるだけ。簡単で効果的な姿勢ケアグッズ

『手のSiseii（シセイイ）』

手をそえるだけで
姿勢をサポート！
骨格のプロが新提案



クラウドファンディングで購入可能
(2024年1月8日(月)公開終了)



整骨院の先生をされている発明家の水島隆太さん。患者さんからの「パソコンをしている時の姿勢が悪くて…。どうにかありませんか？」という、お悩みの声を聴きました。

その原因は、上半身を支える筋肉にありました。長時間座っていると、体を支える筋肉に限界がきます。すると、支えきれなくなった背中丸くなり猫背になってしまいます。水

島さんが注目したのは、四つ足動物のように、両腕で上半身を支えるというアイデアです。二足歩行になつてから、上半身を支えるための両腕が、作業をするために使用できるようになり

ました。しかし、その反面、上半身は支えを失ってしまい、姿勢が悪くなってしまう問題点がありました。そこで、作業肢である「手」に、四つ足動物の「前足」の仕事の思い出してもいい、上半身を支えるために機能する姿勢ケアグッズとして発明したのが「手のSiseii（シセイイ）」です。弾力性のあるエラストマーを素材として、受け止める平面と受け流す曲面を配置してある卵型形状が特徴です。

使い方はとてもカンタン。パソコンや筆記などで手首を設置する場所に、この「Siseii（シセイイ）」を置き、手を添えるだけ。製品がストッパーになり、上半身が、両腕で支えられ、体が前に倒れづらくなっているのが体感できます。



無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル
☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

も楽でした。特に胸の大きい女性は助かるんじゃないかな。」と大好評！水島さんは、ついに完成した「Siseii（シセイイ）」を世の中に普及させるため、現在クラウドファンディングに挑戦中です！

(松野泰明)

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第75回

アルツハイマー新薬の保険適用が決まりました

このコラムで何度か取り上げてきたアルツハイマー新薬「レカネマブ」の保険適用が12月13日に決定しました。体重50キロの人の価格は年298万円だそうです。

米国での薬価は約390万円、エーザイの試算では約468万円でしたから、それに比べると低く抑えられています。高額には変わりありません。高額療養費制度を使えば70歳以上、年収156万～370万円のケースで年14万4千円の支払で済みますが、差額の部分は保険で支払うことになります。薬価決定を受け、エーザイでは12月20日発売を決定しました。

ただ、対象になるのは、アルツハイマー病による軽度認知障害（MCI）や軽度の認知症の人で、進行した中程度では対象ではなく

なります。治療ではなく進行を抑えることが目的の薬品で、すでに認知症になった方は次の薬品の登場を待たなければなりません。

使用期間は原則として1年6ヵ月で、6ヵ月ごとに効果の有無や、副作用が起きていないかを確認し、使用を継続するか判断します。今年度は約400人、来年度は約7,000人への投与が見込まれており、人数的にはまだまだ少ないようですが、これは、必要な専門医の数や設備

を充たす医療機関がまだまだ少ないのも原因のようです。

エーザイとしては、売上高のピークは2031年度になり、3万2千人に投与して986億円になると予測しているようですが、今でも財政的に厳しい公的医療保険制度がこの負担にどこまで耐えられるのか、また、健康保険料を納める年代の方々が、主に薬品を投与されるであろう高齢者の方々に對して反感をおぼえるようにならないか、気になるところです。



Author／林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの 『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310